



♪るんるんルームだより♪

ほし組
R6.9.2



今年の夏は、暑すぎる日が多かったですね。猛暑による熱中症の心配などがありましたが、そんな中でも子ども達は夏を満喫。プールでワニさん泳ぎや顔つけにも挑戦し水遊びを楽しんでいました。たくさん遊んだ後は、皆の大好きなお昼ごはん。食べられる食材も増えお皿をピカピカにすると「ピカピカになったよ」と見せてくれます。今月号では食事（スプーン）についてお伝えしたいと思います。

スプーンの握り方

★上握りでしっかり握るために！

指先の発達には順番があり、最初は手の平全体で物を“握る”→指先で“つまむ”→3点持ち(最終的にお箸の持ち方)へと進んでいきます。上握りでスプーンをしっかり握るためにも握る力をつけたり、指先が巧みに動くよう促すことが大切になっていきます。そのために普段から、遊びの中で取り入れていることがあります。それは、鉄棒のぶら下がりや四つ這い、高這い姿勢で歩くという遊びです。全身運動遊びと捉えがちですが、実は指先や手の平を刺激しているのです。他にもパズルや新しく取り入れたペットボトルの蓋を空き容器に入れる遊びなど、指先を使って遊ぶ遊びに誘っています。

★スプーンが口元にまっすぐ入ってますか？

スプーンが口元の横から入ると、すくった食材をこぼすことが多くなってしまいます。座る姿勢も大事ですが、やはり口元にまっすぐスプーンが入ることで、食べこぼし無く食べることができるようにもなっていくのです。まっすぐ入るように大人がそっと肘を持ち上げたり、声をかけたりしています。この正面から食材を取り込むということは、お箸の持ち方にも関係があるので、保育園では意識して声を掛けていることの1つです。

★3点持ちへの移行はいつから？

3点持ちは、子どもたちそれぞれの成長に合わせて移行していきます。移行の目安としては「スプーンと手の間に空間が出来ているか」「スプーンをまっすぐ口に入れ引き抜けているか」など見るポイントがいくつかあります。

お父さんお母さんの使っているお箸に興味がある時期かもしれませんが、スプーンやお箸の持ち方は将来的に鉛筆の持ち方にも繋がってくるので、まずはしっかりと上握りでスプーンを持ち、子どもの成長発達に合わせ、適切に働きかけていきたいと思えます。

9月予定

2日(月)引き取り訓練
13日(金)身体測定
18日(水)誕生会
28日(土)保護者会